

新県立八重山病院建設に係る工事の地元八重山郡内企業への分離分割優先完全発注に関する要請決議

要旨

提出者 箕底 用一

本市は、南ぬ島石垣空港開港以降、観光関連産業に持ち直しの兆しがみられるものの建設業においては受注競争が激化しており、経営環境は依然として厳しい状況にある。

新県立八重山病院建設工事においては、2017年度の開院へ向けて着実に進捗しているものの工事が大型化し地元企業が受注できる範囲を超えてしまうことが懸念材料となっており、地元企業の受注機会の増大が必要不可欠となっている。よって、当市議会は、新県立八重山病院建設に係る工事の地元八重山郡内企業（八重山建設産業団体連合会会員）への最優先完全発注に向け、下記事項の実現を強く要請する。

1 新県立八重山病院建設工事に係る土木建築工事、造園工事、電気・機械設備工事及びその他付帯工

事並びに建設資材購入等については、地元八重山郡内企業へ分離分割最優先完全発注すること。

○提出先 沖縄県知事、県議会議長、地元選出県議会議員

（結果）全会一致で可決

石垣・那覇間航空路線運賃及び料金に関する要請決議

要旨

提出者 砥板 芳行

石垣島から沖縄本島に渡る唯一の公共交通は航空路線のみであり、市民生活における航空運賃負担は他の地域に比べ突出して大きい。南ぬ島石垣空港が開港したことにより、既存の航空会社より低価格で航空運送事業を行うスカイマーク社が、石垣・那覇間の路線に新規就航を行い、既存の航空会社も割引運賃等を大幅に引き下げ、同路線利用者の負担は大幅に低減された。

また、昨年12月19日には、新興航空会社であるスカイネットアジア航空株式会社（ソラシドエア）が、本年3月29日より当該路線に既存の全日本空輸株式会社との

共同運航という形態で新規就航を行うことが発表され、当該路線は、これまで以上に利用者がニーズに合わせ航空会社と料金サービスを選択することが可能となり利便性が向上した。

このような中、スカイマーク社は、本年1月28日、民事再生法の適用を申請し、当該路線から撤退すること

を決定した。同社の路線撤退後の既存の航空会社及び共同運航での新規就航を行う航空会社は、本年6月30日までの運賃及び料金体系を現行の料金制度に近い料金設定としているが、航空利用者の利便性を保護する目的で規定されている航空法第105条第2項の運用により、当該路線に既に就航している航空会社の利用者のニーズに合わせた料金設定が制限を受けている状況にある。

よって当市議会は、地域の実情及び当該路線の特殊性に鑑み、航空法第105条第2項の規定に基づく運用の取扱いに配慮するように強く要請する。

○提出先 国土交通大臣

（結果）全会一致で可決

飲酒運転撲滅宣言決議

要旨

提出者 長山 家康

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、私たち市民の切実な願いであり、長年の課題である。

飲酒運転による交通事故は、危険運転致死傷罪の新設や厳罰化等を背景に、全国的には減少傾向にあるものの、依然として悪質な飲酒運転による人身事故は後を絶たない状況である。

本市は県内11市の中で人口千人当たりの飲酒運転検挙者がワースト1位である。こうした状況下において、教職員が加害者となる飲酒



全日空と共同運航という形態で新規就航したソラシドエア

運転死亡事故が発生し、未だある若い命が奪われ、市民に大きな衝撃と深い悲しみをもたらし、飲酒運転の恐ろしさをあらためて痛感させた。こうした状況は市民全体の飲酒運転撲滅への意識が希薄化していることに起因している。

この異常事態を解消し、二度と悲劇を繰り返さないために市民とともに飲酒運転を撲滅する決意を新たにすることがある。

よって本市議会は、石垣市及び関係機関、団体、家庭、職場、地域において「飲酒運転は絶対にしない・させない・許さない」という意識改革を早急に進め、諸施策を強力に実践することを誓い、ここに宣言する。



「飲酒運転をしない・させない・許さない」という意識改革を促すのぼり